

平成 28 年度 佐野小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

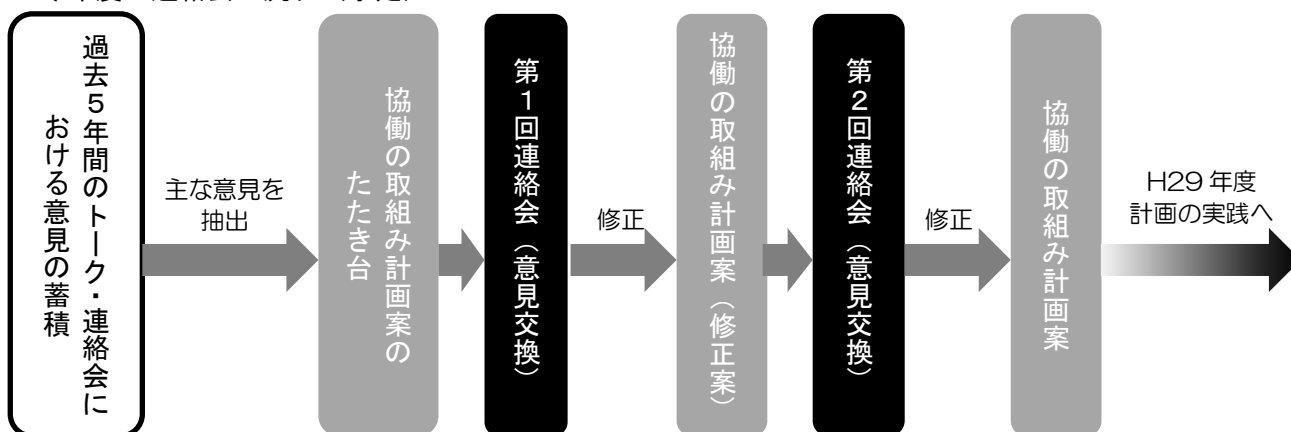
7月21日（木）に開催された「佐野小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日時	平成 28 年 7 月 21 日（木） 19:00～20:40		
会場	北上文化プラザ		
参加団体 (15名)	佐野自治会 佐野区防災委員 見晴台自治会 伊豆佐野保育園	佐野小学校 佐野小学校 PTA 北上中学校 環境美化推進委員会	体育振興会 保健委員会 佐野子ども会 見晴台子ども会

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体/より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- ◆伊豆佐野保育園：毎週木曜日 10:00～12:00「子育てひろば」（園庭開放）を実施。乳幼児の親子だけでなくご高齢の方もぜひ園児と触れ合いに来園ください。また、災害など緊急の際に助けていただけると有り難いです。
- ◆三島甘藷祭り実行委員会：11/12（土）「第 11 回三島甘藷祭り」を開催。日本一の評価を受けた三島のサツマイモの味を多くの人に味わってもらいたい。園児の踊りや、小学生の販売ボランティア、JA 婦人部によるさつま汁等、地域の方々の参加・ご協力を得ながら実施予定。
- ◆やじうまクラブ(見晴台)：自治会役員だけでは行き届かないことに関与。草刈りや樹木の手入れ、カーブミラーの清掃、民生委員と協力し認知症の高齢者の把握など、自分たちでやれることは、自分たちで行う。地域の子は元気で良いが、子ども達のいたずらを防ぐ方法に関して知恵を貸してほしい。

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

● あいさつ・声掛け

- ・ あいさつ三島ー！
- ・ 見晴台も佐野区民も気軽に声掛けができる
- ・ 子どもが元気で大きな声の聞こえる地区

● 顔見知り・交流

- ・ みんなが顔見知り
- ・ 一体となった交流がしたい

● その他

- ・ 佐野っ子祭りのキャンペーンを大々的に
- ・ 登下校について。行きは集団登校、帰りはバスで！交通事故は安心。

【Bグループ】

● 自然豊か

- ・ 自然豊かな場所
- ・ 自然に触れ合える子ども達

● 素直・思いやり

- ・ 素直
- ・ 思いやり、感謝の気持ちを伝えられる

● 協力

- ・ 協力しあえる
- ・ 力

● その他

- ・ 子ども達が帰りたい町

お困りごと・現在の状況

	A グループ	B グループ
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校・高校からの呼びかけで、防災訓練への参加者が増えている。参加証にサインするのが忙しい程。(見晴台) ・ 防災キャンプ(佐野小 PTA 主催)を今年も実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校では地区の防災訓練に出るように、生徒へ言っている。 ・ 防災訓練では、体育振興会がブースについてくれる。(見晴台) ・ 去年は、親子で一緒に毛布と竹竿を使って担架作りを行った。(見晴台) ・ 市の訓練は展示して見るだけだった。 ・ 防災キャンプを PTA が企画している。
消防団の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団員募集について、防災訓練の時に第 5 分団ブースで PR を実施した。 ・ 佐野小時代の友人等のリストを作成して訪問したが、該当者なし。他地区も同様だと思うが、どのようにしているか知りたい。 ・ 「長男は半強制的に加入」という例もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員は減っている。
地域内連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐野っ子応援隊(=佐野小学校支援地域本部)がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園でしゃぎりをやった。 ・ 甘藷祭り実行委員様の協力で、つるさし、収穫体験を実施している。(保育園・農業体験) ・ 見晴台の中だけでも、まだ交流できていない。 ・ 家に閉じこもっている人が、こもりっきりになっている。 ・ 家にこもっている人が心配。 ・ 体育振興会では、運動会の他、遠足、スポーツの振興を行っている。 →見晴台の参加率は良い。佐野は土日に仕事や農作業で、保護者が付き添えなくて参加できないことが多い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ出しルールが新しくなり、徹底されていない。乱れている。困った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甘藷祭りは客寄せのイベントで、本来の目的(コミュニティの強化)が達成されるのか?

取組みたいこと

みんなが参加できる防災訓練を企画・実施しよう		
	A グループ	B グループ
合同訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・合同防災訓練は、<u>避難所</u>である小学校において実施する。 ・見晴台から佐野小まで避難して、<u>実際に体育館にてスペースの割り当て、仕切り等を体験</u>してみたい。 ・<u>見晴台の訓練に佐野の住民も参加</u>させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野小で<u>避難所運営（開設）訓練</u>を実施する。 →7/19 の防災会議で、9/4 に実施することが決定。
小中学生の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の参加型の訓練を実施する。 ・防災訓練に参加するように、<u>小学校からも声をかけてほしい</u>。 ・訓練に参加している子どもから、参加していない子に呼びかけてもらう。<u>友達同士の呼びかけ</u>が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>小中学生の参加</u>を呼びかけて、その<u>家族も参加</u>させていく。
防災キャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域も防災キャンプに協力できる。 →防災キャンプでは大人はあまり口出しせず、子ども達だけでやる方針。手を出し過ぎず見守る。 	
楽しむ要素	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が<u>楽しめるプログラム</u>を盛り込む。（例：炊き出し訓練） 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の中身を緩くする。子どもの参加が多くなる。 ・<u>楽しい活動</u>を取り入れる。（例：サツマイモを使った食料を提供）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>小さな組ごと</u>に行う。 ・<u>消防用具の配置の説明</u>をする。 ・<u>防災担当者</u>を子どもに紹介する。 ・どのようなことを行えば皆が参加しやすいか、<u>専門的立場から参考意見</u>を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練には本当に興味があつて来ているのか？ →<u>防災の意識を高めないと！</u>

佐野と見晴台の交流を深める取り組みを実施しよう		
	A グループ	B グループ
情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・校区にお住まいの皆が、顔見知りになる。 ・何かあれば、<u>両自治会役員には声掛け（報告など）</u>をしてほしい。 	
小学校・PTA 活動を通じた交流	<ul style="list-style-type: none"> ・両地区において<u>一番交流が盛んな時期は小学校の PTA など。PTA 活動に協力する。</u> ・地域の人と子ども達が顔を知れる機会が必要と感じた。<u>交流の場を増やしていきたい。</u>（小学校） 	
子ども会の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>両子ども会で交流。</u>（例：お祭り） ・子ども会同士で話し合い後、<u>自治会も協力する。</u>（見晴台） 	<ul style="list-style-type: none"> ・見晴台夏祭りを通じての、<u>佐野・見晴台子ども会の交流の拡大。</u> ・佐野子ども会・見晴台子ども会とで、何か<u>イベント</u>をする。自治会も参加。
高齢者の交流		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ひまわり会（老人会）に入っていない人たちの交流の日を作る。</u> ・家に閉じこもっている人を出したい。 →<u>子ども会の活動や、第1水曜日リサイクルの日（見晴台）に参加してほしい。</u> ・<u>公民館の開放</u>をしたい。
バス路線の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・佐野、見晴台のバス路線がつながると良い。うれしい。 ・中学生の帰宅時のバスが少ないので、バス停で待つ時間が長い。

消防団員を確保するための取り組みを進めよう		
	A グループ	B グループ
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・第5分団員の<u>募集を全戸に配布して、実態を理解させる。</u> 	
特典	<ul style="list-style-type: none"> ・協力者には<u>特典</u>を与える。 ・消防費の使い方の検討。（例：団員個人への手当など） 	
対象年齢を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・団員の<u>年齢に関係なく募集する。</u>声掛けをする。 ・他県の事例として、初期消火など簡単な作業を行う高齢者消防団がある。 <p>→今後、役割を明確にし、<u>高齢者による消防活動</u>について検討する必要があるのでは？</p>	

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- ・子ども達が帰りたくなるようなまちという意味を含める。
- ・「あいさつ」、「声掛け」、「思いやり」、「協力」などの言葉を用いる。

◆お困りごと・現在の状況

- ・学校からの呼びかけにより、中高生の訓練参加者が増えていることを追記する。
- ・佐野小PTAが防災キャンプを開催していることを追記する。
- ・家に閉じこもりがちの人が心配であることを追記する。

◆取組みたいこと

<みんなが参加できる防災訓練を企画・実施しよう>

- ・防災キャンプについて、小学校PTAが主催していることを追記するとともに、地域の方が協力することも加える。
- ・訓練に楽しい要素を取り入れることを書く。

<佐野と見晴台の交流を深める取組みを実施しよう>

- ・子ども会同士交流を佐野の神社のお祭りだけではなく、見晴台の夏祭りなどにも拡大していくことを追記する。自治会も協力することを記述する。
- ・高齢者の引きこもり防止や世代間交流のため、閉じこもりがち高齢者への対策を検討する旨を追記する。

<消防団員を確保するための取組みを進めよう>

- ・消防団の募集チラシを全戸に配布するなど、募集方法を工夫することを追記する。
- ・役割を明確にした上で高齢者による消防活動について検討する旨を追記する。